

タイ農業協同組合省 (MOAC)、地理情報・宇宙技術開発機関 (GISTDA) との連携協定を締結

7月31日(火)、タイ王国バンコク近郊のインパクト・チャレンジャー・ホールにおいて、本学とタイ農業協同組合省(MOAC)、地理情報・宇宙技術開発機関(GISTDA)との間で連携協定の調印式が執り行われました。本学からは、名和豊春総長、増田隆夫工学研究院長、横田 篤農学研究院長、野口 伸農学研究院副研究院長、山田敏彦国際食資源学院副院長、川野辺創国際連携機構副機構長他、2名の教職員が参加しました。

同日午前には、在タイ日本国大使館の協力のもと、本学関係者と日系企業関係者として連携協定に関する産学ミーティングを行いました。タイ政府は現在新たな経済政策であるThailand4.0*を進めており、人工衛星等を活用したスマート農業に力を入れています。今回の協定で対象とするこれらの研究領域は、本学が進めている「ロボスト農

林水産工学国際連携研究教育拠点構想」と密接に関係しており、農学研究院や工学研究院をはじめとする本学の複数の部局が関わって、積極的に推進しています。

同日午後に行われた調印式では、辻泰弘北海道副知事の挨拶に続き、MOAC大臣顧問のナロン・オンサード氏より挨拶をいただきました。その後、名和総長、ラートビロージ・コワッタナMOAC事務次官、アノンド・スニドボンGISTDA長官がそれぞれ協

定書に署名しました。調印式には、関係者およそ100名が出席しました。

本協定の締結を契機に、本学とタイとの間にこれまで以上に深い繋がりが生まれ、協力関係が活発に推進されることが期待されます。

*農業分野など10分野へ投資を呼び込み、高い付加価値と競争力を持つ産業へと高度化させ安定的な経済成長を達成させる施策。

(国際部国際連携課)



調印式の様子